**（３）基本方針別にみる重要度評価**

**①「人」が輝くまちをつくるための基本方針**

「そう思う」が最も多いのは「学校教育の充実」で45.4％、次いで「学校施設の整備」で37.7％となっている。

「ややそう思う」が最も多いのは「青少年の健全育成」で37.7％、次いで「生涯学習施設の整備・充実とネットワーク化」で37.6％となっている。

「どちらとも言えない」が最も多いのは「市民文化の醸成」で41.8％、次いで「地域学習社会の形成」で40.7％となっている。

「あまりそう思わない」が最も多いのは「人権文化の醸成」で7.9％、次いで「人権の擁護」で7.1％となっている。

「そう思わない」が最も多いのは「人権の擁護」で3.0％、次いで「人権文化の醸成」と「市民スポーツの振興」が2.9％となっている。

**②「安心」が得られるまちをつくるための基本方針**

「そう思う」が最も多いのは「犯罪のないまちづくり」で51.1％、次いで「災害に強いまちづくり」で43.2％となっている。

「ややそう思う」が最も多いのは「地域ぐるみの子ども・子育て支援」で35.4％、次いで「市民の健康づくり」で34.4％となっている。

「どちらとも言えない」が最も多いのは「火葬場・墓地の適正管理と公衆衛生の向上」で39.3％、次いで「『地域力』のあるまちづくり」で32.9％となっている。

「あまりそう思わない」が最も多いのは「いきいきとした高齢社会の実現」と「『地域力』のあるまちづくり」で3.0％、次いで「生活安定への支援」で2.6％となっている。

「そう思わない」が最も多いのは「火葬場・墓地の適正管理と公衆衛生の向上」で1.5％、次いで「いきいきとした高齢社会の実現」で1.4％となっている。

**③「心地よさ」が感じられるまちをつくるための基本方針**

「そう思う」が最も多いのは「安全で快適な道路づくり」で40.6％、次いで「水の安定供給」が37.1％となっている。

「ややそう思う」が最も多いのは「やすらぎ・憩いの環境づくり」で38.6％、次いで「良好な景観の保全と創出」で35.1％となっている。

「どちらとも言えない」が最も多いのは「環境学習の充実」で41.2％、次いで「“まちなか”の魅力向上」で35.9％となっている。

「あまりそう思わない」が最も多いのは「環境学習の充実」で4.4％、次いで「やすらぎ・憩いの環境づくり」と「“まちなか”の魅力向上」で3.6％となっている。

「そう思わない」が最も多いのは「環境学習の充実」で1.4％、次いで「地球温暖化対策への貢献」で1.3％となっている。

**④「活気」があふれるまちをつくるための基本方針**

「そう思う」が最も多いのは「観光の振興」で23.2％、次いで「商業の振興」で21.9％となっている。

「ややそう思う」が最も多いのは「大学などを生かしたまちづくりの展開」で35.4％、次いで「商業の振興」で33.0％となっている。

「どちらとも言えない」が最も多いのは「水産業等の振興」で47.0％、次いで「工業の振興」で44.0％となっている。

「あまりそう思わない」が最も多いのは「水産業等の振興」で4.8％、次いで「市民主体のまちづくりを支援する体制の充実」「まちづくり情報の提供の充実」「多様な交流活動の展開」「大学などを生かしたまちづくりの展開」で4.6％となっている。

「そう思わない」が最も多いのは「市民活動の活性化」で1.7％、次いで「水産業等の振興」「大学などを生かしたまちづくりの展開」で1.5％となっている。

**【行財政マネジメント】**

「市民から信頼される市政運営」において、「そう思う」が最も多く42.0％、次いで「ややそう思う」が29.4％となっている。

「行財政資源の有効活用」において、「そう思う」が最も多く42.1％、次いで「ややそう思う」が27.4％となっている。